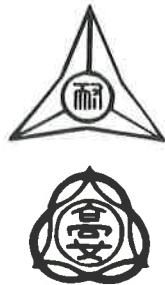




耐久高等学校同窓会報

耐久



NO. 7

今や耐久名物となった ロングハイキング

高野山宿坊にて一泊し、翌朝より清水町にむけての
ロングハイキングは2年生の恒例行事である。

(10月)

耐久高等学校 創立150周年記念事業実行委員会発足



実行委員長
上野 寛 氏

実行委員長に上野 寛氏

財務担当部長に平井 康雄氏
記念誌担当部長に齊藤 春太郎氏

し合いの中での最終的に
両氏とも「母校のためなら！」との一言で引き受け
て下さいました。

そして今年一月十日、
準備委員会から実行委員
会に引継ぎが行われ、上

昨年六月、同窓会代表
三名、PTA代表三名、
学校代表三名と校長・教
頭・事務長の計十二名で

創立一五〇周年準備委員
会を立ち上げ、以後、会
を重ねること五回、実行
委員会の体制や委員長の
人選、事業内容等の検討
を行つてきました。様々
な角度・観点から検討し
た結果、実行委員長は株
式会社ユアサ代表取締役
の上野 寛氏(旧中41期)、
財務部長は株式会社双葉
産業代表取締役の平井 康
雄氏(高3期)にお願いす
ることになりました。

両氏とも大変忙しい立
場にあり、当初その就任
を固辞されましたが、準備
委員との数回にわたる話
ことになりました。

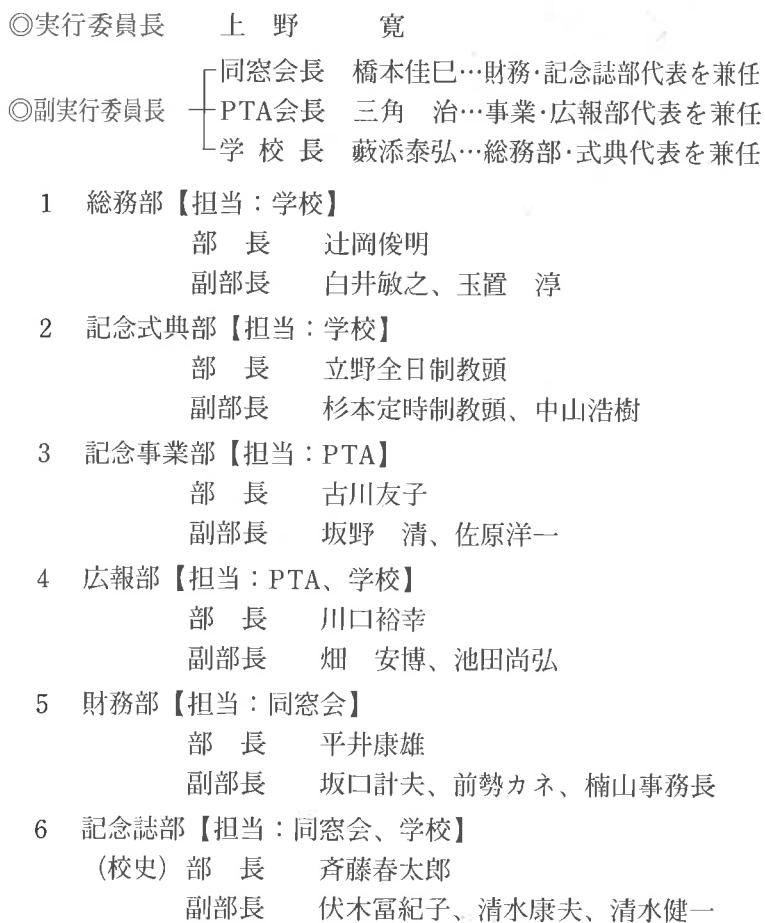
上野 寛氏
(事務局)
昨年六月、同窓会代表
三名、PTA代表三名、
学校代表三名と校長・教
頭・事務長の計十二名で
創立一五〇周年準備委員
会を立ち上げ、以後、会
を重ねること五回、実行
委員会の体制や委員長の
人選、事業内容等の検討
を行つてきました。様々
な角度・観点から検討し
た結果、実行委員長は株
式会社ユアサ代表取締役
の上野 寛氏(旧中41期)、
財務部長は株式会社双葉
産業代表取締役の平井 康
雄氏(高3期)にお願いす
ることになりました。

同窓会活動報告

(2000)

- 8. 7 同窓会報(第6号)打合せ会、150周年記念事業内容討議
 - 8. 11 150周年記念式典・記念事業内容の摺り合わせ
(同窓会長・校長・PTA会長)
 - 9. 11 第3回150周年記念準備委員会
(橋本会長、伏木、齐藤、事務局、学校、PTA)
 - 9. 14 同窓会報第6号発行
 - 9. 21 平成12年度第1回役員会
(会報配布、150周年事業他について)
 - 9. 22 幹事・評議員に同窓会報第6号郵送
 - 9. 27 第4回150周年準備委員会
(橋本会長、伏木、齐藤、事務局、学校、PTA)
 - 10. 4 第5回150周年準備委員会
(橋本会長、伏木、齐藤、事務局、学校、PTA)
 - 10. 16 同窓会報(第7号)打合せ会(編集委員、事務局)
 - 11. 6 上野 寛様宅を訪問(校長、会長)
 - 11. 8 平成12年度第2回役員会
(150周年事業実行委員会他について)
 - 11. 10 上野 寛様宅を訪問(会長、事務局)
 - 12. 4 平井康雄様宅を訪問(会長)
同窓会報(第7号)打合せ会(編集委員、事務局)
 - 12. 20 150周年実行委員会打合せ会
(校長、PTA会長、同窓会長、上野氏、平井氏)
- (2001)
- 1. 10 150周年記念事業実行委員会発足(学校応接室)
 - 1. 23 県東京事務所長 長谷豊展氏来校(校長、会長)
 - 1. 24 読売新聞社記者來校(校長、会長)
 - 2. 5 同窓会報(第7号)校正会(編集委員、事務局)
 - 2. 5 県東京事務所訪問—関東地区耐久会の件
(校長、事務長、PTA会長、同窓会長)
 - 2. 6 東大、谷口教授を祝賀訪問(校長、事務長、会長)
 - 2. 19 第2回150周年実行委員会

実行委員会組織図



「ロングハイキング」について



校長 藪添泰弘

何ともいいようのない満足感、感動があつた事であろうと思う。

本校の恒例行事の一つ「ロングハイキング」をPTAの方々のご協力をいただきながら、十月十四日に実施した。

生徒は前日の十三日にバスで高野山へ行き、グループ別に山内を自主研修した後、宿坊に一泊した。

生徒は汗をかきながら、又「しんどい、しんどい」を連発しながらも、清水町のゴルフを目指し、三〇キロをひたすら歩いた。

小さい頃から便利な乗り物だらけの中で育ってきた今の若者には、歩いても歩いても一向に目的地が現れてこない、このロングハイキングによって、本当に「遠い」ということを実感した事であろうし、それだけに、最後まで歩き終えたという

自然体験や体を動かす機会がだんだん乏しくなつてきているといわれる今日、このロングハイキングの持つ教育的意義が大きいと改めて感じる次第である。

この行事は昭和五十五年八月下旬に第一回目を実施して以来、今回で二十一回目となるが実際に息長く取組

まっているもので、今や本校の名物行事の一つともなっている。

以下この行事が初めて実施された当時の事を思い出すままに書いてみる。

第一回目の実施に先立つて十数名の教員が先ず全コースを歩き、道中の下検分をすると共に実施時期や安全への対策をめぐって教職員で熱心に議論した事を昨日のように思い出す。

行事実施要項を作成する段になつて行事名をどうし



ない。ある日、私が図書館でアメリカからの留学生（十六才で本県としては最初の年間留学生）ジョン・ポーター君と話している所に、

当時、特別教育活動部長で、この件で思案されていた南健治先生が見えられた。そこで二人での事業計画の内容をジョン君に話し、英語でなにかいの名前を考えてくれないかと頼んだ。ジョン君は「学校の行事として、こんなに長い距離を歩くな

つかり歩いてくれることを期待しているのだ。」と言つた。すると彼は「やつぱりハイキングかな。」と言う。南先生も、私も「ハイキング？」と驚いたように聞いた。ジョン君は「ハイキング。でもロングハイキングですね。」と独り言つた。これを聞いた南先生は「これでいい。」と決めた。ロングハイキングにしよう。」とおっしゃつてこの新規行事の名称もやつと決定したという次第であつた。



んてアメリカでは経験した事もないで見当もつかない。」

と言つていたが、ふいに「歩くことで生徒に競争をさせると何が？」と訊いてきた。私は

達は「競争ではない。自分

のペースで、又、友達と話しながら、周囲の風景をも楽しみながらゴールまでしつかり歩いてくれることを期待しているのだ。」と言つた。すると彼は「やつぱりハイキングかな。」と言つた。南先生も、私も「ハイキン

グ？」と驚いたように聞いた。ジョン君は「ハイキング。でもロングハイキン

グですね。」と独り言つた。これを聞いた南先生は「これでいい。」と決めた。ロングハイ

キングにしよう。」とおつしやつてこの新規行事の名称もやつと決定したという次第であつた。

中内塗装

塗装のことなら

湯浅町山田10-13
TEL 63-3769

みんなで育てよう
会報耐久を!

高4期生(女)匿名

643-
0001
電話○七三七一六三一五
FAX○七三七一六三一五
○九九

清 水 塾

ながたに歯科
長谷晋作(高33期)



Nagatani Dental Clinic
■診療時間 AM9:00~12:00 PM2:00~7:00
■休診日 木土曜午後・日曜・祝祭日
〒643-0004 有田郡湯浅町湯浅1456-7
TEL 0737(63)4182

社会福祉法人 翠園 済生会
済生会有田病院 ライフケア有田
湯浅町吉川52-6
TEL (0737) 63-5561代 TEL (0737) 63-5564代

来年度の普通科一学級減と推薦入試について



教頭 立野淑郎

本校は平成三年度まで全学年にわたって九クラス編成で、あつたが、平成四年度の一年生から一クラス減になり八クラスになった。来年度十年振りに一年生がさらに一クラス減つて七クラスになる。

今年度からグローバル探究科一クラスが新設されて、

普通科が八クラスから七クラスになつたが、来年

は六クラスになるといふこ

とである。普通科は十年間で九クラスから六クラスに

なるという激減ぶりである。

長期的に見れば今後少子化はますます進むので、一

学級四十人編成を保つとす

れば学級数は減少していくことになる。本校としては

グローバル探究科の増設を

希望しているので、この面からも普通科の減少は避けがたい傾向にある。それだけに、普通科をさらに改組して特色のある普通科づくり

期待に添えるように努力していきたい。

両科の推薦入試に校内外共に注目が集まると思われるが、

本校としては両科の内容を

一層充実させて、志願者の

期待に添えるように努力し

ていきたい。

奇しくもグローバル探究科の推薦が二十四名、普通科の推薦が二十四名と同数になる。

今年度の推荐入試は、

志願者がくるのか予測しが

たいところである。

選考試験は両科とも小論

文である。小論文には二種類

あつて、課題を与えてそれに

ついて書かせるという課題

論文と、資料を読ませてそれ

について書かせるという資

料論文がある。ちなみに今

年のグローバル探究科の小

論文入試は資料論文であった。

二月十五日に実施される

結果はまだ発表されていない。

本校は、和歌山県で初

めにこうした交換留学を

進めるなど、これまで二

十年以上にわたる国際交

流の実績を有しています。

「国際化」は二十一世紀の

キーワードでもあります。

そのためのコミュニケーションの手段としての英

語力の習得はもちろん必

要ですが、眞の国際人と

なるには、その言語を用

いて世界に向けて発信す

る「何か」を持たねばな

りません。その「何か」

を獲得する力を身につけ

るべく、現在は幅広い内

容についての学習に取り

組んでいます。

また今年度、本校は、

生徒一人ひとりが輝く魅

力ある教育活動を支援す

ることを目的とした、県

の「あすなろ支援事業」

の指定を受け、三つの事

りに努めたいと思っている。
さて、来年度からその普通科に推薦入試が導入され、定員の10%を募集できる。

新世紀を迎えるという大きな節目にあたる今年度、本校にグローバル探究科が創設されました。その名称が示すように、グローバルな視野に立ち、二十世紀の国際社会で活躍する人材を育成することを目指すこの新学科で、一期生として四十名の生徒が学んでいます。今回

は担任の目から見たグローバル探究科、一年八組の様子を紹介したいと思います。

クラスは男子七名・女子三十三名という構成で、少い男子もそれをさほど気にする様子もなく、

体育祭や文化祭といった行事でもその存在感を大いに示してくれました。また昨年九月には、本校への二人の留学生のうち、フランスから一年間の予定で本校を訪れているベ

ンソン・デュロン君を、

クラスの一員として迎えました。彼の学習に対する姿勢や、ものの見方や

考え方などからは学ぶこ

とが多いようです。

本校は、和歌山県で初

めてこうした交換留学を

進めるなど、これまで二

十年以上にわたる国際交

流の実績を有しています。

「国際化」は二十一世紀の

キーワードでもあります。

そのためのコミュニケーションの手段としての英

語力の習得はもちろん必

要ですが、眞の国際人と

なるには、その言語を用

いて世界に向けて発信す

る「何か」を持たねばな

りません。その「何か」

を獲得する力を身につけ

るべく、現在は幅広い内

容についての学習に取り

組んでいます。

また今年度、本校は、

生徒一人ひとりが輝く魅

力ある教育活動を支援す

ることを目的とした、県

の「あすなろ支援事業」

の指定を受け、三つの事



グローバル探究科（一一八担任）田中清子

業を開いています。そのうちの一つとして、グローバル探究科では、外部より国際経験豊かな方々を講師としてお招きし、特別講義を行つていただけではありませんでした。「国際交流とは」と、「異文化理解とは」といった内容をご自身の体験をふまえ、時には英語や中国語を交えて、わかりやすく語りかけてください。先生のお話は、生徒にとって自身の国際感覚を磨く非常によい機会となつたようです。

本校には、一八五二年の創立以来脈脈と受け継がれてきた伝統があります。その伝統に「グローバル探究科」という新たなページが加わりました。一年八組の一人ひとりが、自分たちの手で歴史を刻んでいくのだという誇りと自覚を持つて、有意義な高校生活を送つてくれる

ことを期待しています。

特集 サイエンスの高野山

兵庫県立先端科学技術支援センター 千川純一



「それだけでよいのですか」

物事を解明するのに「科学的手法しか考えられない」と言う科学者に対する問い合わせです。「では他にどんな手があるか」と反問されると、文学者は「それは分からぬのです」とうなだれるしかない。でも、エレガントにうなだれる、うなだれ方を問題にする。

これは利根川進・立花隆の両氏とのテレビフォーラムで大江健三郎氏のご指摘です。

「人間の心の問題も脳内の細胞の働きとして全部解明できることが来る」と考へている利根川氏に対し、大江氏は、「そういう明解に割り切れるものでなく、言葉で表現出来ないものを文学は追求している」と言われる。

実際、「母の愛とはなにか」との問いには、野口シカさんが米国の息子、野口英世に送つた有名なカナの手紙を見てもらおうシカない。

ビジネスであれば、研究であれ、何事でも技術だけで出来るも

のではなく、それに加えて言葉では表現できない心構えが必要です。

私の勤務先「兵庫県立先端科学技術支援センター」は建築家の磯崎新氏とハーバード大学教授のP・ウォカーハード

がこもつたデザインです。

まず、庭園。飛び石が部屋の中まで続いていたり、霧が吹き出す幻想的な竹藪があります。それに、ハート型のトイレの壁がマリリンモンローのお尻の形とはシリませんでした。

その発想は子供じみています。

大人が思いも着かぬ新鮮な発想は子供が退屈していく面白

るからなのです。子供心が大切。

第二は、竜安寺を模した庭

には、石と芝生の築山が対に並び、陰と陽、科学と技術、知と愛を表現しています。心

理学者の河合隼雄氏は古事記

に中性と思われる神様が出て

くるが活動がなく、男神と女

神に分かれてから活劇が始ま

ると言われています。

第三は、大ホール会議場です。

この天井は四つのアーチが

天井を支え、これはパワー、

力強さ、雄々しさの表現です。

ホールの外のロビーの壁はワ

インカラーで曼陀羅を表して

います。曼陀羅は真言宗の創始者の空海が中国から持ち帰ったもので、宇宙に充満しているエネルギーの象徴で、ここで手を叩くと大きな反響が跳ね返って来る。われわれの活動が宇宙のエネルギーと共に鳴して増幅されるのです。司馬遼太郎氏の「空海の風景」によりますと、灌漑用の池や川などは、空海がボント足で蹴つたらパット出来たという伝説が至る所にあるけれど、実は、故郷の讃岐に池を作るときは、空海の一聲で二万人を動員できたのに、その上にお天皇から詔勅をもらつてくるという周到さでした。また、遣唐使の船で唐に渡つたとき、真言宗の家元を継いで、ですから空海が去ると家元は中国から日本へ移つてしまつた。そしてお経はもとより、曼陀羅のような美術品を沢山持ち帰り、日本の文化の発展に大きく貢献しました。

これに要した費用は莫大なもので、それをどうして調達したのか、歴史上のナゾです。唐に渡つたときの遣唐使の船には比叡山天台宗を開いた国費留学の最澄も乗つっていました。空海は私費で、「莫大な費用を瀬戸内海の海賊が貢いだ」と瀬戸内寂聴氏が言うのに対し「せめて商人と言つて下さい」と哲学者の梅原猛氏。とにかく海賊と言われても不思議でないほど空海さんは「やり手」であった。

「空海の風景」では「およそ謙遜など絶対にしない男」と描かれています。最澄は生涯のライバルで、「陰と陽」の遍照」と言うと、最澄は「一隅を照らす」と主張するのです。磯崎新先生のデザインは「研究者は空海流にやりなはれ」と教へているようです。

播磨科学公園都市は標高三百メートル、直径五百メートルの光源施設SPring-8、ガンの粒子線治療施設など巨大施設があり、「サイエンスの高野山」なのです。一度、見に来て下さい。



大型放射光施設 SPring-8

千川純一先生プロフィール

湯浅町出身

- 1948年 和歌山県立耐久中学校卒業（42回）
- 1953年 京都大学理学部物理学科卒業
- 1960年 京都大学大学院物理学専攻（旧制）終了
- 1960年 日本放送協会技術研究所研究員
- 1961年 京都大学理学博士
- 1982年 日本放送協会放送科学基礎研究所次長
- 1984年 文部省高エネルギー物理学研究所 教授
- 1985年 文部省高エネルギー物理学研究所 放射光実験施設長
- 1991年 兵庫県立姫路工業大学理学部物質科学科教授
- 1996年 兵庫県立先端科学技術支援センター所長
現在に至る。

大河内記念技術賞、紫綬褒章受章、2000年学士院賞。
文部省高エネルギー物理学研究所名誉教授。

SPring-8の高速電子ビームから出る放射光を利用した産・学・官の研究を支援・推進している。

連載 浜口梧陵(2)

垣内 貞

『稲むらの火』が国定教科書・小学国語卷十（五年生用）に昭和十二年より掲載されると、震災予防評議会から今村明恒東京大学教授（一八七〇～一九四八）の執筆で『稲むらの火』の教方方に就いて』という冊子が全国の小学校に配布される。地震学の泰斗・今村博士は「主人公が津波を予知し、稻むらに火をつけ村民を救つた献身的な物語を講ずるだけでも教科としての価値は充分であるが、さらに物語の出典、それに主人公の業績や人物を識り、それらを教えるならばその効果は倍加し、児童をして終生忘れ難い感銘を与えるに違いない」と述べている。

そして、その主人公の名は浜口儀兵衛（梧陵）、当時三十五歳と付け加える。この今村博士の冊子の概要是「安政元年十一月五日（筆者註・安政は嘉永七年十一月二十七日よりのため、この津波の日は正式には嘉永

七年）南海道沿岸を襲った津波の震源地は潮岬と室戸岬の沖合百キロ近くの所であり、広村では地震を感じたのは午後五時頃で、それより津波襲来は一時間後であつた。

この津波は広村の場合第二波が最も高く、俗稱一本松（筆者註・この松は現在は枯れ、石碑のみが立っている。八幡神社の北四百米、下馬松ともいう）の根元まで押し寄せたといわれ、水面約八米の高さまで上つたことになる。なお三番波は二番波に劣らず大きく、五番波もやや大きかつた」と記述している。

広村津波襲来の模様は、古田庄右衛門咏處（一八三六～一九〇六）の描いた『広村に於ける安政津波図』と、友田陽國の二点が、今も養源寺（広川町広）に保存されている。

この絵を見た今村博士は、湯浅町の北西にある百二

三米の高地から見下ろした図で、津波が陸地に浸入するときは、低地特に川筋を伝つて勢鋭く先廻りをするから、避難者は往々逃げ遡ることがある。

画面の左方に見える川筋は広川で、その上手高城山の麓に二、三の船が打上げられている。

右手の山（天皇山）の陰に江上川があるが、水柱が揚がつてゐる辺がそれであろう。



咏處は栖原村（湯浅町栖原）の垣内己山（医学者・漢学者、少年期の梧陵の師）の三男

家とともに銚子に醤油醸造所を當む古田家を継いだ。

当日、実家から帰る途中、広村を襲う津波を目の当たり

にして、とっさに絵筆を執ったのであろう。

梧陵と咏處は深い親交があり、現存する咏處宛の手紙からもそれが窺える。

この時、広村の戸数（三九）うち流失（二二五）、全潰（一〇）、半潰（四六）、汐入大小破損（一五八）、田流失（三二町九反）、畑流失（三町七反）、船流失（一三）、橋流出（三）。人口（一三三三）うち死者（男一二・女一八・小兒六計三六）村の全戸が大被害を受けたのであった。

瞬時に奈落の底に突き落された村人は、余震の続く暗闇の中、ただ恐怖に身も心も震えるばかりであり、それを見詰める梧陵は、緊急にこの人達を救う手段を考えねばならなかつた。それには先ず食糧をと、梧陵は隣村の法藏寺の貯蔵米を借り、焚出しを行つた。深夜には中野村（広川町上中野）の庄屋を訪れ、藩に上納する年貢米五十石を「全責任は梧陵が負うから」と渉る庄屋を説得して借り受けた。

この図はよく地震津波の真相を掴んでいる」と述べる。この『安政津波図』は写真技術のない時代、よくその様子を実写しており、その後の貴重な資料となつた。



有田高女同窓会 東京支部会だより

コスモスが風にゆれる
十月五日、二年振りに東京ステーションホテルで同窓会を開催しました。
今年の夏は大変な暑さの上に残暑も長く感じました。今回は三十名の出席で初めての方もいらっしゃいました。

十一時半に開会となり、支部長の挨拶につづき、湯浅より遠路出席して下さった本部会長伏木様のご挨拶と共に、恩師松本先生の近況及び竹中先生のご様子をお報せ下さいました。諸先生方のお顔に接する事が出来なかつたのが淋しく残念でした。お手紙をコピーして皆様に配り見ていただきました。

尚、今年は村井支部長の任期に伴い25期丸山昌子様が新しく支部長に選出されました。

乾杯の後、会席料理の昼食となり、あちこちでお話がはずみ笑い声も楽しくお互いに元気で再会できた事を嬉しく喜び合

いました。
故郷を遠く離れている私達に、伏木様、奈良様のお一方から湯浅特産の「しらす」のお土産を頂戴し、また同窓会報も届けて下さり感激し有難く思いました。

食事もすみ、本部の同窓会のアルバムを皆様に回覧している合間に、ご欠席の先生方に全員で色紙に寄せ書きをし、スナップ写真を撮つたり、談笑で名残りはつきない様でしたが、時間も残り少なくなり最後に、思い出多いあの有田高女の校舎、諸先生方、そして級友を思い浮かべ「校歌」と「丘の桜」を歌つて二時半すぎ閉会となりました。

当番 28期生



たちばな会(高女25期) 信州草津 2000.4.9

たちばな会(高女25期) 信州草津 2000.4.9
北斎の天井画なる鳳凰図

出席者の中に東京ステーションホテルで結婚式を挙げた方が大変なつかしんで下さり、又皆様方も、東京駅内の便利な会場にご満足の様子で喜んでいた。ただけた事が何よりでした。

丸山 昌子記

いました。
故郷を遠く離れている私達に、伏木様、奈良様のお一方から湯浅特産の「しらす」のお土産を頂戴し、また同窓会報も届けて下さり感激し有難く思いました。

信州草津の秋 たちばな会

十一月六、七、八日

にごろり横たわる。和尚の案内がユーモラスだった。

北斎の天井画なる鳳凰図

寝そべりて観る小布施の寺に

十六景の繊細な筆づかいに見惚れ

た後、志賀高原のドライブを楽しむ。

白樺の樹々はすでに葉を落し白い木立の林立が印象的だった。

さびさびと冬に入りゆく志賀高原

しらかばの白き木立が並ぶ

横手山を経て白根山へ。励まし合

つて頂上の火口湖を目指す。秋空に

コバルトブルーの湖が神秘の光を湛

えていた。硫黄を噴きあげる殺生川

原を車窓に眺め、バスは天下の名湯、

草津に向かう。町は硫黄の香に包ま

れていた。ホテルより徒步五分の湯

畠や賽の川原を散策。草津の秋を満喫する。

三日目も晴。日の出を拝む。鬼押

し出し園は浅間山噴火の折の熔岩流

で出来た雄大な景觀。然しこも観光化しつづける。白糸の滝は鄙びた感

じがまだ残っていた。旧軽井沢銀座

は真夏の賑わいが嘘のように静かで

街路樹のまつ赤な楓が風に舞つてい

た。満天星や公孫樹の紅葉の色がす

ごく綺麗だった。買物を楽しみ高速

を経て長野駅へ。解散。

丸山 昌子記

◆ご贈答には鶴屋の銘菓を◆

御菓子司

鶴屋 德滿

本店 奈良市下御門町 TEL.0742(23)2454

FAX.0742(23)2455

支店・三条店・直売店・奈良そごう店・洋菓子部

高橋富子(旧姓:児島)高女4期生

半世紀ぶりの同級会



旧中40期

私達の恩師斎藤勇吉先生のご子息、春太郎先生のおすすめにより、この拙文を綴りました。
一度寄らうじゃないかと発案をしてくれた方の尽力で今回半世紀ぶりの同級会を開きました。卒業以来六十三年振りに会った人を加えて、会員名簿十九名中十一名が集合しました。

お互いに先ず第一に発した言葉の多くは「あんた誰?」でした。沢山の戦死した方を含めて、どうしても会えぬ友、三十二名

卒業以来六十三年振りに会った人を加えて、会員名簿十九名中十一名が集合しました。

お互いに先ず第一に発した言葉の多くは「あんた誰?」でした。

語れども語れども尽きぬ話で四時間程があつという間に過ぎてしましました。

宴の後、車に乗つてみんなで懐かしい母校を訪ねました。

在校中、少しおくれた八十周年記念の催しがあつた建物の内、

元の位置に存在していたのは昔の雨天体操場がたつた一つ、そ

して校庭の東に見覚えのあるス

タンドがあるのみで、その変わ

りようには一同びっくりでした。

運動場に輝一つで集合して、

そのまま遊泳に行つた白砂青松の天州の浜は全くその姿を変え

ていましたが、悟陵さんの築造になる防波堤の切れ目から見る

校門の付近に昔の姿を見つけま

した。門柱の「和歌山県立耐久

中学校」の銘板と共に。

一同過ぎし少年時代の感慨に浸りつつ、通学道路であつた仲町を通つて湯浅駅へ。意義深き一日に感謝しつつ再会を約し解散しました。

文責・和田生（湯浅在住）

の方々をしのんで一同深い黙祷を捧げて会が始まりました。

戦中、戦後、それに現在の話

はほんの少し……とにかく四方山話に花が咲き、一時間ばかりは全く料理に手が付かぬ程でした。

語れども語れども尽きぬ話で

四時間程があつという間に過ぎてしましました。

阪神方面からは坂本・竹中の両氏、白浜から朝枝氏が参加されました。

思えば私達35期生は小学校入学が満州事変勃発の年、希望に胸をふくらませた耐久中学校入

学は蘆溝橋の銃声一発から始まつた日中戦争、卒業年度の十二月には大東亜戦争突入と、十五年戦争をくぐり抜け生きて来ました。

死亡者四十四名の中戦死された級友は十人です。現在三十二名で、そのうち十二名、写真にうつつておられる方々が出席されました。

開会前、耐久高校同窓会報「耐久」第六号をお配りしたところ、初めて会報を手にしたと大喜び。

恩師斎藤勇吉先生の筆になる表紙絵「昭和初期・耐久中学校俯瞰図」に数々の思いがよみがえり、懐かしがることしきり。話題沸騰で早々に話がはずみまし

喜寿の同級会開く

第35期（昭和17年卒）

前日までのぐずついた天気が一転、爽やかな秋晴れに恵まれた九月二十四日、広川町在住の西谷・林・堀氏のお世話をにより「喜寿を迎える同級会」を、西広「フルーツ楽園」で開催しました。



中35期 フルーツ楽園 2000.9.24

有田川土地改良区
理事長 岡本善夫
有田市糸我町中畠206 TEL. 0737-88-7551(代)

電気工事・浄化槽維持管理 各種水道設備工事
古川電気水道工事店 〒649-0317 有田市古江見75-5 TEL(0737) 82-4466 FAX(0737) 82-2888

カラープリント・APS・スピード仕上 各種記念写真・出張撮影
コピア フォトショップルナナ 湯浅町湯浅1852(ユビア1F) TEL(FAX) 63-2170

三井海上火災保険(株)代理店 三井みらい生命(株)代理店
江川損害保険 江川雅章(高19明) 有田市千田1100-16 TEL.0737-83-2479 FAX.83-3404 和歌山支店 TEL.073-436-5601 事故センター-436-5604

まぎらわしい協賛金等依頼にご注意を！……耐久の実行委員会とは関係ございません。

高垣源徳記

高2期

卒業五十年
白浜の旅

私たち2期生の同窓会は隔年に幹事持ち回りで開いていました。今年は耐高を出て五十年、西岡幹事さん等の肝いりでクアハウス白浜一泊の旅を楽しみました。九月三十日、午後二時、耐久高校正面玄関に集合、人々、創立一五〇周年を迎える母校の見違えるばかりに変わった校舎、施設を見て回り、耐高OBの藤添校長先生のお話を拝聴した後、白浜に向かいました。初めて、マックス・ウェーバーの名を耳にした世界史の授業、その世界史を担当された、当時、二十八才の新進気鋭の広井先生、その先生には終始ご同行頂きましたが、翌日、どれどれ市場では将に師弟逆転、カメラのシャッターまで切つていただきました。私は酒席の場ではあまり相応しくない話題だと思いながら、

とも凝縮し、幾多の喜怒哀楽を嘗めてきた時期であつたと思います。

青春時代は夢なんて、道に迷つてゐるばかり。



高2期 クアハウス白浜 2000.9.30

ここに集まつた五十二の瞳のなかで誰が最後の一人生だけのクラスメイトになるのだろうかと話題を持ち出しました。私はも健やかに一〇〇才まで生きて見たいという願望はあります。全員長命レースに奮起しましよう。しかし、今まで、私はお金持ちではないけれど時持つていつか始めましたが、加齢するにつれて時持つて満足と自信を持つていましたが、加齢するにつけ、あることへの自信は揺らぎ始めました。

しかも、私が一〇〇才まで生きられたとしても今日の高齢化社会では、ここに集まつた二十六人みんなが健やかに存命できるかもしれません。かくあらんことを願うは切ながら、兎にも角にも、二十六人、いえ、七十才というしく三氏の名簿の中に新が加えられ、しみじみ実感したことであります。

耐久中学校42期生三十名が、山崎新太郎・森三男三郎両先生をお迎えして宮原橘家に集つた。毎年残暑のこの頃に相寄り来し方を語り合つて旧交を深めているが、今年は齡古希とて特別の意義あっての開催でもあつた。司会者が読み上げる物故者の名簿の中に新しく三氏の名簿の中に新

ここに集まつた五十二の瞳のなかで誰が最後の一人生だけのクラスメイトになるのだろうかと話題を持ち出しました。私はも健やかに一〇〇才まで生きて見たいという願望はあります。全員長命レースに奮起しましよう。しかし、今まで、私はお金持ちではないけれど時持つていつか始めましたが、加齢するにつれて時持つて満足と自信を持つていましたが、加齢するにつけ、あることへの自信は揺らぎ始めました。



旧中42期 橘家 2000.9.10

川崎祐三記

二〇〇〇年九月十日、瞬刻ふと少年の日に引き戻されて緊張した。
「今日はもう先生方に圧倒されて……」といふ呟きや話題が交錯して半日を過ごし、来年の出会いを約束して会は閉じられた。

しあなごく

古希に集う(旧中42期)

コスモ石油
薮野幸一商店
薮野修(高3期)
本店 TEL. 0737-63-5161
国道店 TEL. 0737-62-2733

宮尾かわら工業
宮尾 勉(高19期)

有田郡吉備町木尻541
TEL. 0737-52-3811
FAX. 0737-52-7685

おしゃれの店

ハマリ
湯浅町本町(立石角東入る—店頭駐車可) TEL. 63-5551

高4期

1000年を記念して

同期会を中国で楽しむ

上海・西安・北京

群賢ことごとく集う



毎年の同期会に加え、隔年には一泊旅行を催している4期生は、今年ミレニアムを期し、又高校時代から五十年経過したのを記念して、一行十七名、十一月一日から五日まで、悠久の歴史を誇る中国を研修訪問しました。

添乗員なしで、独自のコースを立案しての旅は、寒くも暑くもなしの天候にも恵まれ、カラリとした爽快な大陸性気候を満喫しながら。

二日目、楊貴妃が湯浴みした華清池で、噴出する温泉の湯に手を洗いのべて往時を偲んだり、安倍仲麻呂の記念碑がある興慶宮には寄

門まで、一般的ツアーワークスを立案しての旅は、寒くも暑くもなしの天候にも恵まれ、カラリとした爽快な大陸性気候を満喫しながら。

一月三日は日本の文化の日、奈良、京都造営の模範となつた、いにしえの国際都市長安の都から、新築成った北京国際空港に飛び、今回の企画が幸運の積み重ねであることを実感する。

北京では、北京銀座王府井のホリデイインに宿泊したので、夜の王府井通りを堪能できたのはラッキー。

そのきらびやかさ、東京銀

座以上である。

まるまる五日間、気心の知れた同期生ばかりで、円卓を囲み中華料理を賞味し、同じホテルに宿泊し、万里長城・故宮・天壇・始皇帝陵、四つの世界遺産を巡って、最高の幸せ、最高の楽しい旅でした。

前田滋子記

標題に群賢（賢人たちの集団）と書いたがわれわれ一団の構成員は、若干の例

れなかつたけれど、車窓から玄宗皇帝時代の仲麻呂の遺徳を偲んだり、餃子宴を楽しんだり、夜のまちを歩いたり。三日目、長安城壁上を歩き、徒歩で碑林を訪ね、古文化街を散策しながら南

の朝で最初に聞いた日本語は湯浅弁だった。西安の宿にとどろけ湯浅弁。われわれ4期生十七名の中には滋ちゃんである。彼らのことは滋ちゃんである。彼



高4期 中国 2000.11.1~5

外はあつても、私を含めて、ちまたの有象無象、普通の連中が、中国に着くや否や、猛勉強を始めて烏合の衆変じて群賢と化したのである。たいが、半世紀前にもこれほど勉強していた姿は記憶はない。中国は勉強したくなる国なのだ。

実は私自身は二十年余り前にたどつたコースなので、あまり乗り気でなかつたのであるが、気心の知つた同期生と一緒に行くことと、その後の中国がどう変わつたか知りたいということでお参りさせてもらつた。短い旅だったが、中国は大きく変化したように見える。

かつてはなかつた観光地での物売りの激しさには閉口したが、しかし、「千円」と売りつけに来る彼らにも生活がかかっているのである。旧日本軍が銃剣で中國なんだと実感。首都北京―天安門広場―壮大さと威儀の紫禁城―きらびやかな皇帝のたたずまいが今に伝わる故宮―世界遺産の万里の長城―息を切らしながら全身で感じた中国での幸せな五日間は終生忘れることができないでしょう。(文省略)

楠山修作記

な輩は一人もいなかつた。根っからの中国好きの私は本当に嬉しいことであった。群賢の群賢たるゆえんである。書聖王羲之の『蘭亭序』(これは西安に在る碑林の中の売店で拓本を購入した)の中の群賢畢至。少長咸集である。

女は五十歳をとうに過ぎてから朱子の「少年老い易く学成り難し」という一句に触発されて一念発起し、独学で中国語をマスターし、中国で一年間、日本語を教えた経験をもつ。

仲間たちは、そのようなことで、中国や中国人を蔑視したり、低く評価するよう

したり、低い評価をもつ。さいわいわれらの一団の構成員は、若干の例

の投稿は締切日と紙面の都合で残念乍ら割愛させて頂きました。

※岩崎弥生、宮下稔、鷹井慶子記
（文省略）



QP会 兵庫県湯村温泉 2000.9.30~10.1

本校の創立と古さ (秋田高校百年史より抜粋)

…しかも全国を通じて創立六十年を迎えた中学校は、わずか三校にすぎない。今わが秋田中学校が創立六十年を迎えるにあたり、本校よりも先にこの式典をあげたものは、和歌山県立

次回は耐久創立一五〇周年行事に併せて開催することとなつた。なお、この旅行中、耐久は全国で二番目の創立であると言つていたが、その後、橋本同窓会会长から一番古い学校であるとお聞きした。

二十一世紀では三世紀にわたる我が母校、歴史に残る記念行事が望まれる。

坂口 記

耐久中学校、京都府立第一中学
校および新潟県立長岡中学校の三校である。なんなく耐久中学校の如きは嘉永五年すなわちペルリ渡米の前年に創立され、その沿革の古さは、第一

★ 急告 電話での募金依頼にご注意を!

150周年に絡んでの協賛広告や贊助金お願いの電話がかかるようですが、耐久150周年実行委員会の活動とは一切関係ありませんので、念の為ご連絡まで。

Q・P会

今年のQ・P会（高10期卒の一年A組担任野崎英雄先生）は九月三十日（十月一日にかけて、兵庫県湯村温泉で開催した。還暦を迎えた益々意気盛んな十八名が参加、湯浅から大阪で野崎先生や京都組が合流した。

会場のホテルの庭園は素晴らしい、またロビー等には有名な絵画や面識のある方の写真が展示され、食事の料理も郷土の食材が存分に使われていた。何時もの事ながら幹事さん（二沢・大久保両氏）の心遣いに感謝した。

今年の野崎先生の講義は好感を抱いた数人の女生徒がいた事で臨時教室は沸き上り、想像と質問が飛び交い、恋患有と片思いが行き交つた。

夕食中に二人の女性がセーラー服に変装して登場、それに翌日、吉永小百合に瓜二つの夢千代像と合い、また鳥取砂丘では遠足を思い起し、共に若き時代に戻つた一時であつた。

次回は耐久創立一五〇周年行事に併せて開催することとなつた。なお、この旅

出席者は四十七名、當時担任の森先生（七組）、栗原先生（八組）、野田先生（九組）もお元気な顔を見せて下さつた。遠方から益休みで帰省していく都合良く出席できた人や、卒業以来初めての方もいて、旧交を温めることができた。

各自の近況報告から始まり、リストラや転職等のちょっと重たい仕事の話、家族の事、高校時代の思い出話などなど尽きることなく、いつの間にか気付いた。

そんな中で、医学博士になつたO君の言った「皆さん元気でなにより。普通はこの年になると、もう通はこの年になると、もうがり、いつまでも別れ難かつた。

的だった。団塊の世代は、いつ何時であろうとも健在である。

小沢良和

事ながら幹事さん（二沢・大久保両氏）の心遣いに感謝した。

今年の野崎先生の講義は好感を抱いた数人の女生徒がいた事で臨時教室は沸き上り、想像と質問が飛び交い、恋患有と片思いが行き交つた。

夕食中に二人の女性がセーラー服に変装して登場、それに翌日、吉永小百合に瓜二つの夢千代像と合い、また鳥取砂丘では遠足を思い起し、共に若き時代に戻つた一時であつた。

次回は耐久創立一五〇周年行事に併せて開催することとなつた。なお、この旅

出席者は四十七名、當時担任の森先生（七組）、栗原先生（八組）、野田先生（九組）もお元気な顔を見せて下さつた。遠方から益休みで帰省していく都合良く出席できた人や、卒業以来初めての方もいて、旧交を温めることができた。

各自の近況報告から始まり、リストラや転職等のちょっと重たい仕事の話、家族の事、高校時代の思い出話などなど尽きることなく、いつの間にか気付いた。

そんな中で、医学博士になつたO君の言った「皆さん元気でなにより。普通はこの年になると、もうがり、いつまでも別れ難かつた。

的だった。団塊の世代は、いつ何時であろうとも健在である。

小沢良和

高19期 五十路を越えた団塊の世代

高校19期七・八・九組

合同の同窓会がお盆の八月十五日に開催された。

前回「四年後、シドニーで会おう！」と再会を約束したので、オリンピックに合わせた開催となつた。

（場所はシドニーではなく、有田であつたが……。）

出席者は四十七名、當時担任の森先生（七組）、栗原先生（八組）、野田先生（九組）もお元気な顔を見せて下さつた。遠方から益休みで帰省していく都合良く出席できた人や、卒業以来初めての方もいて、旧交を温めることができた。



高校19期 2000.8.15

ゆが母校

「母校ができたのは、ペリ

ーの黒船が浦賀に来る一年前。その先進性とグローバルな気風に学んで、新しい文化を発信するような気持ちで盛り上げていきたい。」（文中引用）

このほど読売新聞では四回に分けて、耐久高校を紹介され、第一回目（8月十四日）として創始者浜口梧陵翁の人物像そして一年後に迎える百五十周年にむけての取り組みや、OBの「絆の強化」等、今や県指定史跡となつている耐久社（明治三年築）の写真と共に掲載されている。

※詳しくは事務局迄お問い合わせ下さい。

海南労務事務所

社会保険労務士
所長 池田 幸世（高4期）

海南省日方1272（新町ビル）
TEL 073-482-2503
FAX 073-482-2506

糸 バスケットボールの巻

OB・OG会長
南 館夫(高27期)

我がバスケットボール部は戦後間もなく創部され、現在に至っています。OB・OG会員も四〇〇名を越え、各方面で活躍されています。バスケットボール関係でも、日本協会公認審判員をされている方、大学やクラブチーム等新たなチームに所属して頑張っている方、中学校や高校の指導にあたる方もおられます。OB・OG会活動も順調になり、毎年一月二日にはOB・OG対現役戦、夏の強化合宿への参加と援助を行い、会員同士の交流を深めるとともに、現役選手への支援に取り組んでいます。

創部以来五十余年の歴史の中、いまだ男女ともに全国大会出場がありません。県内でベスト4や8に入るような好チームは何度も輩出してきましたが、「県制覇・全国大会出場」となると、男子では、かつては田辺・海南・和歌山北・和歌山工、最近では初芝橋本、また女子でも、かつては箕島・信愛女子、現在では開智といつた強豪校の壁に跳ね返され、

部活OB・OGたちの員も四〇〇名を越え、各个方面で活躍されています。バスケットボール関係でも、日本協会公認審判員をされている方、大学やクラブチーム等新たなチームに所属して頑張っている方、中学校や高校の指導にあたる方もおられます。OB・OG会活動も順調になり、毎年一月二日にはOB・OG対現役戦、夏の強化合宿への参加と援助を行い、会員同士の交流を深めるとともに、現役選手への支援に取り組んでいます。

他の強豪校とは異なり、バスケットボールの専門家が顧問やコーチに就かれることはなかつたのですが、逆に、生徒たちがOBGの助けを借りながら、自分たちで相談し、考えてチームを作り上げてきた伝統があります。現在の現役選手たちにもその精神を持ち続け欲しく思っています。

創部当時の大先輩方はもう七〇歳ぐらいで、今の現役の選手たちは孫にあたるくらいです。今後もバスケットボール部がさらに発展し、近い将来「全国大会出場」の悲願が果たされることをOB・OG会一同願うばかりです。

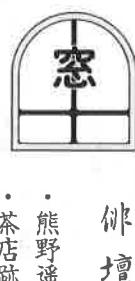
連載「浜口梧陵」の記事は一五〇周年を前にすばらしい企画だったと思います。「特集」と共にいづきに読ませて頂きました。

声高く白球を追うグラウンド 下野香代(高20期)

色深む桜紅葉の下通り 中内京子(高15期)

時空超え天へ伸びゆく若竹を 活くる花展に子の未来たつ 鈴懸の実のたまゆらに響きあふ 坂を登れば風はきさらぎ

熊野遙か 野は蕭条と 冬苺 茶店跡 天馬所跡と 冬ざる、



同窓
体育馆

市ノ瀬伊久男(職員)

『編集後記』

平成十四年(2002年)秋の創立一五〇周年記念式典に向けて実行委員会も組織され、いよいよ活動を開始しつつある各部の状況をこれまでの紙面に出来るだけ反映させていきたいと考えています。記念事業の一つである同窓会名簿作成も平成十二年四月末に完了し、予約されていた会員(約二、五〇〇名)の皆様方の手元へお届けすることが出来ました。これからはこの「会報」を一人でも多くの方々にお届けして、会員相互の絆を強めるべく、編集部員一同頑張っていきたいと考えています。なお同窓会名簿・会報に関する問い合わせ(名簿・会報送付依頼、同窓会情報提供等)は、遠慮なく事務局までいただきたく思つております。そして今回も、多忙な中、執筆・投稿そして取材に協力していただいた方々、またこの厳しい不況下で賛助広告を快く引き受け下さった方々に衷心より感謝申し上げます。



(ブラジルの保)

